

RV215WのIPv6スタティックルーティング

目的

ルータが複数のネットワークに接続されている場合、またはネットワークに複数のルータがインストールされている場合は、スタティックルートを設定する必要があります。スタティックルーティング機能は、データがルータを通過する前後にネットワークを通過するパスを決定します。スタティックルーティングを使用すると、異なるIPドメインユーザがルータ経由でインターネットにアクセスできます。

この記事では、RV215WでIPv6スタティックルーティングを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ RV215W

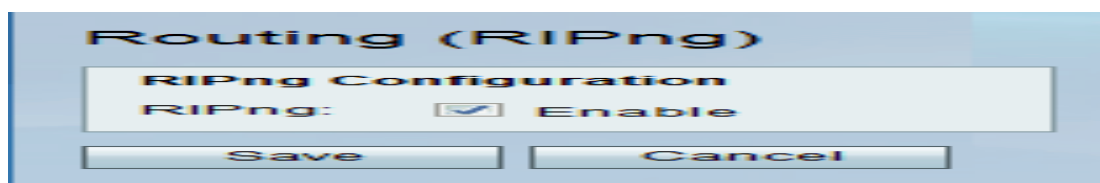
[Software Version]

- ・1.1.0.5

IPv6スタティックルーティングの設定

[スタティックルートの追加](#)

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [IPv6] > [IPv6 Static Routing] を選択します。「静的ルーティング」ページが開きます。



ステップ2:[Add Row]をクリックします。

IPv6 Static Route Table							
<input type="checkbox"/>	Name	Destination	Prefix Length	Gateway	Interface	Metric	Active
<input type="checkbox"/>	Test	2001:0DB8:0000:0000:0000:0023:0012:5612	48	2008:0DB8:0000:0001:FFFF:0000:0000:FFFE	LAN	6	Enable
<input type="checkbox"/>	Test1	2001:0DB8:0000:0180:0100:0087:0012:5612	14	2008:0018:0B20:0001:FAD3:0000:0000:FFAE	WAN	9	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ3:[Name]フィールドにルートの名前を入力します。

ステップ4:[Destination]フィールドに宛先ホストのIPアドレスを入力します。

ステップ5:[Prefix Length]フィールドにIPアドレスのプレフィックスビット数を入力します。

ステップ6:[Gateway]フィールドにホストのデフォルトゲートウェイを入力します。

ステップ7:[Interface]ドロップダウンリストから目的のインターフェイスを選択します。使

用可能なオプションは次のとおりです。

- ・ WAN：ルータがネットワークにインターネット接続を提供するか、ユーザがインターネットを介して別のネットワークに接続する場合は、WANを選択します。
- ・ LAN：ルータがLAN上のゲートウェイルータからインターネット接続を取得するか、デフォルトゲートウェイがLANポート上にある場合は、LANを選択します。
- ・ 6to4：ルータがIPv4ネットワーク経由でIPv6パケットを送信する必要がある場合は、6to4を選択します。6to4はIPv6パケットをIPv4ソースに送信しません。IPv4は交通機関にのみ使用されます。

ステップ8:[Metric]フィールドにメトリック値を入力します。メトリックは、同じ宛先への既存のルート間のルートに優先順位を設定するために使用されます。メトリック値が増加すると、優先順位が下がります。メトリックが最も小さいルートは、複数のルートがある宛先に送信されます。

ステップ9:[Active]チェックボックスをオンにして、スタティックルートを有効にします。このチェックボックスをオフにすると、ルートはルーティングテーブルにリストされますが、ルーティング対象とはみなされません。この機能は、宛先ネットワークの準備が整う前にルートを作成するときに役立ちます。

ステップ10:[Save]をクリックします。

スタティックルートの編集

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [IPv6] > [IPv6 Static Routing] を選択します。「静的ルーティング」ページが開きます。

IPv6 Static Route Table							
<input type="checkbox"/>	Name	Destination	Prefix Length	Gateway	Interface	Metric	Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Test	2001:0DB8::	48	2008:0DB8::	LAN	6	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Test1	2001:0DB8:0000:0180:0100:0087:0012:5612	14	2008:0018:0B20:0001:FAD3:0000:0000:FFAE	WAN	9	Enable

ステップ2：編集するIPv6静的ルートを確認します。

ステップ3:[Edit]をクリックします。必要な変更を行うには、「スタティックルート [の追加](#)」セクションのステップ3～9を実行します。

ステップ4:[Save]をクリックします。

スタティックルートの削除

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [IPv6] > [IPv6 Static Routing] を選択します。「静的ルーティング」ページが開きます。

IPv6 Static Route Table							
<input type="checkbox"/>	Name	Destination	Prefix Length	Gateway	Interface	Metric	Active
<input type="checkbox"/>	Test	2001:0DB8:0000:0000:0000:0023:0012:5612	48	2008:0DB8:0000:0001:FFFF:0000:0000:FFFE	LAN	6	Enable
<input checked="" type="checkbox"/>	Test1	2001:0DB8:0000:0180:0100:0087:0012:5612	14	2008:0018:0B20:0001:FAD3:0000:0000:FFAE	WAN	9	Enable

ステップ2：削除するIPv6静的ルートを確認します。

ステップ3:[削除]をクリックします。

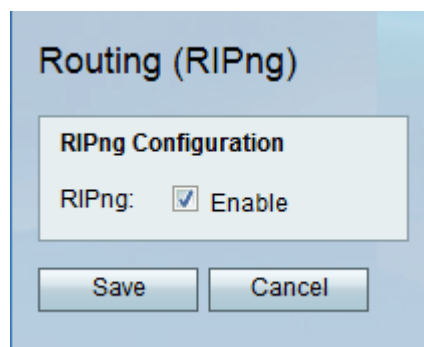
ステップ4:[Save]をクリックします。

ルーティング(RIPng)

Routing Information Protocol(RIP)は、内部ネットワークでよく使用されるInterior Gateway Protocol(IGP)です。これにより、ルータはルーティング情報を他のルータと自動的に交換し、ルーティングテーブルを動的に調整してネットワークの変更に適応できます。

注：大規模ネットワークに拡張できないため、大規模ネットワークではRIPを使用しないでください。RIPルータの最大ホップカウントは15で、16として割り当てられ、到達不能であるよりも多い。

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [IPv6] > [Routing (RIPng)]を選択します。[ルーティング(RIPng)]ページが開きます。



ステップ2:RIPルーティングをアクティブにするには、[Enable]チェックボックスをオンにします。

ステップ3:[Save]をクリックします。